



～ 新任のご挨拶 ～

なかがわ まさゆき

内視鏡泌尿器科部長 中川 雅之

平成27年4月1日付で若草第一病院泌尿器科に赴任いたしました中川雅之と申します。

平成8年関西医科大学卒業後、関西医科大学附属病院で研修ののち、うえに病院（現コープ大阪病院）、西淀病院、京都市立病院、関西医科大学助教、泉尾病院医長として勤務し、この度こちらでお世話になることになりました。

泌尿器科全般、内視鏡（腹腔鏡）手術、女性泌尿器を専門としております。

これからの日本は高齢化社会に突き進んでおります。高齢化による問題の一つには、排尿障害で悩まれる方が今後増加してくることがあげられます。泌尿器科医としてこれらの問題に積極的に携わっていく必要があると考えております。

排尿障害とは、正常な排尿機能を維持できない状態を下部尿路機能障害（一般的には排尿障害）と呼びます。正常な排尿とは、少量の尿が溜まっても尿意を感じない、尿意を感じてもしばらく我慢することができる、随意的に尿の排出を開始できる、排出がはじまると勢い良く尿が出る、排尿を途中で随意的にとめることができることなどが適切に行えることであります。繰り返すではありますが、これらが行えない状態が排尿障害の状態であり、通常、以下のような症状がみられます。

昼間頻尿（一般的に昼間に1日8回以上排尿する）、夜間頻尿（就寝中に1回以上排尿する）、尿勢減弱（勢い良く尿が出ない）、残尿感（排尿後も尿が残っている感じがする）、排尿途絶（尿が途中で途切れる）、切迫感（尿意を催すと我慢ができない）、腹圧排尿（排尿時に腹圧をかけて排尿する）、尿失禁（排尿を我慢できずに漏れたり、動作時や運動時に漏れる）、以上の症状があれば患者さんの病態に合わせて、薬物療法、行動療法、手術療法を行います。特に、男性であれば前立腺肥大症による排尿障害、女性であれば腹圧性尿失禁、過活動膀胱による頻尿で悩まれている方が多くあります。それぞれの疾患は内服でコントロールできることが多くありますが、治療困難時には経尿道的前立腺切除術、メッシュを使用した失禁根治術などで治療することが出来ます。

関西医科大学赴任時には女性泌尿器疾患に多く携わってきており、この経験を生かしてこの東大阪市の地域でも今後積極的に治療、手術を導入していく予定であります。排尿障害、尿失禁でお困りの方がございましたら、一度泌尿器科にご紹介頂けましたら幸いです。

～ 新任医師のご紹介 ～

泌尿器科

内視鏡泌尿器科部長

なかがわ まさゆき

中川 雅之 H18 関西医科大学卒

眼科 診療部長

ひがき しろ

檜垣 史郎 H15 愛媛大学卒

脳神経外科

いしだ しろまる

石田 城丸 H18 奈良県立医科大学卒

整形外科 医長

まつもと あきのり

松本 亮紀 H22 島根大学卒

～ 退職医師 ～

脳神経外科

藤岡 政行 竹綱 成典

整形外科

国村 大樹

呼吸器内科

田村 佳菜子

～ 開放型病院新登録医のご紹介 ～

医師会

医療機関名

医師名

布施医師会

永井医院

山崎 章子 院長

河内医師会

はなぞの生協診療所

石井 大介 院長

～新しい医療機器導入のご案内～

泌尿器科では、膀胱腎盂ビデオスコープにより、膀胱がん等の診断に対する即時検査が可能となります。

内視鏡センターにはカプセル内視鏡、上部消化管汎用ビデオスコープ、十二指腸ビデオスコープ、大腸ビデオスコープを導入し、より鮮明な画像での検査が可能となります。

上記、医療機器の導入により、今まで以上にがん医療の充実を目指していきます。